

不思議5 再建その3

本社が高野山僧徒に焼き討ちにあった永禄11年(1568)10月は、足利義昭とともに織田信長は上洛し、三好三人衆などを撃破して、室町幕府の再興を果たしたときです。当時の宇智郡は信長派の畠山氏が治めていました。高野山は反信長派で、信長の上洛や同じ反信長派の三好三人衆の敗北を受けて、宇智郡への反撃を始めたのでしょう。

この年は坂合部・深閨城・表野・相谷・犬飼・荒坂の戦、翌年は深閨城の戦、1573年は久留野・大岡の戦、1574年は野原・坂合部の戦と、相次いで高野山と畠山氏の戦が繰り広げられています。

1582年の本能寺の変により信長は自害しますが、戦国の世はこれ以降も続き、1600年の関ヶ原の戦いをもって、ようやく天下が統一する方向に向かい、1615年の大坂夏の陣をもって大規模な戦が終了します。宇智郡にも平和な時代が訪れた寛永14年(1637年)、御霊神社の本殿が再建されます。